

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第159号&160号

(2024.3.3-2024.3.17)

- ◆ 参加者：帰ってきた笛地静恵、菊池洋勝、しまねこくん、山羊の頭、かれん、汐田大輝、佐竹紫田、Sena、花野玖、クイスクエ、西脇祥貴、乃梨子、奈津美、西沢葉火、何となく短歌、夜鳥、片羽 雲雀、水の眠り、岡村知昭、海馬、おかもとかも、しろうも、石原とつき、蔭一郎、ヴたこだよ、りゅうせん、雷(らい)、涼閑、ビスケット日記、古城エツ、さし、石畑由紀子、温(ぬる)み、片羽 雲雀、おしよ、みきと、石川聡、soko 守宮、まつりべさん、朝森たけ、もふもふ、みさきゆう、うつわ、かぜみすみ、ダリア、天やん、石川聡、唯有、桂月、しろとも、睡密堂(すいみつどう)、池田 突波、白石ホビー、千春、富永頭二、ゆりのはなこ、児島成、馬勝、靈夢、この街に恋をした、東ころ、やは、星野響、小沢史、鴨川ねぎ、雪夜彗星、輪井ゆう、アゲとチクワ、キジヨウ、チャッコ・バリ、月波写生(七二名)

◆川柳・俳句

風船に産毛が生えて来る高度 しまねこくん
頼りたい時に貴方は牡蠣フライ しまねこくん
蝶々が開けてしまった自動ドア しまねこくん
諦めて菜の花を摘む執刀医 しまねこくん
あつまつてみせあうすきな粗太ごみ 蔭一郎
日が射して首から下は春の土 蔭一郎
髪の手を解けば臭う禊月 かれん
薔薇という漢字の書ける雪ダルマ まつりべさん
念力で折ってしまったガラスペン soko 守宮

バス停のまわりに遠い旅がある 雷

言葉にはならないほうの型を取る 雷

インフルエンザB型ののの茶碗 海馬

蒟蒻をのせるところがある宇宙 海馬

ほしい物リストへ入れる青いネギ りゆうせん

わたくしはチューリップの芽料理する 千春

チューリップ赦される日を待っている 千春

鼻毛からカーブがつづく愛宕山 汐田大輝

中入のざわめきに酔う手酌酒 石川聡

汚らしい傷ごと咲いてしまいなさい 片羽雲雀

木蓮に目隠しすれば同じ春 片羽雲雀

ファッションファッショ糞野郎 片羽雲雀

猫の恋辞書に不倫のなき平和 もふもふ

春おぼろ就活婚活してるふり もふもふ

階段のひとつひとつにティッシュ箱 さー

シーソーはこんなつもりじゃないと泣く おかもとかも

性的興奮覚ゆる波の花 菊池洋勝

後継者イエスか農家 西沢葉火

卒業のさくらコサージュバジルの香 りゆうせん

眠らないつもりダリアになるつもり 岡村知昭

ポスターの奥行きを出す花畑 輪井ゆう

*

マンションの404にヨイトマケ 帰ってきた笛地静恵

父の歳越えゆくばかり入彼岸 STUSTA

水温む然りとて遠き向かう岸 花野玖

寄り添ってもう冷たくなつたサロメ クイスケ

くびきだった紀もある中島みゆき 西脇祥貴

お湯かけたら虹になる貝これですよ 奈津実

大根の花や適材適所なり 夜鳥

何かしら言いたげに嘖く雪柳 しろとも

街の灯がひとつふたつと点る宵 涼閑

片割れはもう戻らない春手套　ビスケット日記
日に一度どうして、と言う鹿威し　石畑由紀子
傷心の連作それは人生だ　^{トク!}トク! ^{ミキ!}ミキ!
天土を丸ごと抱えて舞い倒す　うつわ
腰痛いSEXは出来ませぬ 孕鹿　ダリア 220
訃報めが桜前線追い越して　天やん
ミスミモザチキンラーメンハイボール　池田 突破
七個目を揃えて願う鎮魂歌　富永 頭二
さみしさに名前をつける日曜日　ゆりのはなこ
コジマでしようかいえコダマ^ま ^ま ^ま　児島成
パパ活で稼いで買った受精卵　馬勝
廃番の翼をもちで月に跳ぶ　紗千子
胃腸病み　一晚藻掻く　浅き春　靈夢
こいびとのつくるカレーに口説かれる　東こころ
たましいのさんぶんのいちある星座　やは
雛壇の中にはオペラ座の怪人　星野響
蕎麦ゆでる飛行機雲にかわるまで　小沢史
大粒の涙花粉で誤魔化して　雪夜 彗星
春夕焼あの下ならば住めるかな　^{ミヤギの幸}
悲しみは天ぷらにして塩で食う　鴨川ねぎ

*

カフェラテに浮く宮城野親方の顔　月波与生

◆ 短歌

手の中に収まる海を眺めてる寄せては返す眠りに乗れず
かぜみすみ
人生のお昼休みが来ぬままにもう五時間目寝かせてください
い　虚見津山都

にっぽんを指でゆっくりなで上げる次々ほころぶ桜前線
水の眠り

オルガンを割った手首の静脈のはかなさに似た硬い残雪

白石^{ホビー}

*

ぐだぐだと否定するより穏やかになりたい自分みつけた

山羊の頭

後悔の果実は熟しもう二度と戻らぬときの香りを放つ 佐

竹紫田

お入りと布団を上げて呼んでみる手懐けたふりのひとりば

つちを 乃梨子

アガメムノン製は胃薬は甘いきっかけを青いを省く 石原

とつき

雪の日に星が出ていて凍え死に諦めてまた君を頼張る ヴ

たこだよ

違和感が確信になる瞬間になぜだかいつもオフコース聴く

古城エツ

春の雨冷たさ身体に沁みわたる温めようか鍋焼きうどんで

温

菜の花が畑一杯咲こうとも春物の服僕は買わない 朝森た

け

向こう側響く老人の祈る声小綺麗な店の列に並んで みさ

きゆう

結末がわかる ほらね、やっぱりね余計なお世話かもしれ

ないね nine

物憂げに項垂れた花目にとめて君がしゃがんだ花なんか嫌

い 唯有

薄玻璃を血より濃い赤で満たしてモノクロームの夜を彩る

睡密堂

Aの勇者が探し耕すは弱者と強者の端境の『並』 この

街に恋をした

◆詩・短文

親と子

姉ともうと

夫と妻

そしてまた子と親

すべてを分かり合えることはないのだろう。

無くして初めてわかること。

所詮

さよならだけが人生さ（桂月）

◆作品評から

につぼんを指でゆつくりなで上げる次々ほころぶ桜前線

水の眠り

♪きれいな歌ですねえ！その指の持ち主にあいたい！と

思いました（アゲとチクワ）

美しい…！その指が動いたびに春風がふわりと香りそうで

すね（キジヨウ）

諦めて菜の花を摘む執刀医　しまねこくん

～「諦めて」の初句が重いです。友人の医師の「一番

悲しいのは、患者が亡くなったときではなく、今の医学

では（自分の知識と技術では）助けられないと、さとする瞬

間だ」という言葉を、ふと思いつきました。（帰ってきた

笛地静恵）

ファツションファツショ糞野郎 片羽雲雀

〜思わず笑うくらいパンクつす (白石ポピー)

リンスインシャンプーイン四月の戯曲 上崎

〜リンスの句は (リンス・イン・魂 (洗い流せない) 柳本々々) を思い出すが 20 年経ってようやく新しいのが出たか、と思った。(月波与生)

悲しみは天ぷらにして塩で食う 鴨川ねぎ

〜塩を振らなくても塩味が… (チャツコ・バリ)

いい意味で卒業ですと放流す しろとも

〜稚魚でしょうか。春らしい句だなあと思いきや、「いい意味で」。はて、卒業に意味があるとは。いい意味の卒業、悪い意味の卒業…。世の中の様々な卒業にはよしあしがあるのでしょうか。そして、セリフのようで放流を仕切る閻魔のような存在を感じます。稚魚→匹→匹は大人になるのにサイズや日数で決められるのかもしれない。放たれたあとは険しい大海原をたったひとりで冒険です。たとえ未熟であっても放流は放流。いい意味の放流は、サイズや生まれてからの日数ではなく放流できるような一人前の生魚試験なるものが存在して…。(かれん)